



日進中だより

学ぶ生徒 誠実な生徒 鍛える生徒

令和6年 11月 1日
第 8 号
さいたま市立日進中学校
TEL 048-663-1251
FAX 048-663-0834

『好きこそものの上手なれ』

校長 小熊 誠

「日進秋の陣」第二幕、「新人戦」。日進の活躍はすさまじいものでした。団体種目で、野球・サッカー・男女卓球・男女柔道・男女バドミントンと8団体、個人種目で、男女卓球・女子新体操・男女柔道・男女バドミントン・男女陸上競技・男子水泳と10種目、延べ約140人を超える生徒たちが県大会へと駒を進めました。ほぼ県下ナンバーワンの実績だと思います。本当に素晴らしいです。また、競技以外の何かで1番を目指してこようという目標も、笑顔・挨拶・マナーと抜群の輝きを魅せてくれました。流石最強日進、黄色から赤へ、魂の襷がしっかりと繋がりました。この後の県大会での更なる活躍を楽しみにしています。11月には、吹奏楽部や、演劇部、科学部の発表も控えています。保護者・地域の皆様どうぞ御期待ください。

第三幕、「駅伝競走大会」。私が日進にきて初めて、男女とも1～3年全ての学年が代表としてそろった、正真正銘の学校選抜の最強軍団を組織できました。6月からの練習を経て、最終的には約100人で、皆の汗と魂のこもった襷を繋ぎながらの練習ができ、万全の準備をして臨んだ大会でした。結果は、男子18位・女子20位と県大会には届きませんでした。しかし、朝一の男女全員での「日進体操」荒川総合グラウンドに、その場にいた全ての人たちに、日進の魂を刻むことができました。新しい日進の伝統を創りました。

そして、第四幕「合唱コンクール」。痺れました。体のそこから、震えました。全体合唱の「夢の世界を」から始



まり、まさに私たちは、「夢の世界」に入り込みました。そして各学年の全体合唱。1年「Believe」。1年生の「希望」がはじけていました。2年「大切なもの」。「がんばれ」「まけないで」最強の応援歌でした。そして3年「あすという日が」。「いっしょうけんめい 生きること」まさに私たちの第一命題です。生徒たちの、思いのこもった歌詞は、言霊となり、私たちの体全体にしみ込んできました。そして極めつけは、全23クラスの「合唱」です。生徒たちは、10月27日の「合唱コンクール」当日に備え、クラス独自の、23通りの思いを込めた、23通りの練習により、23通りの歌に仕上げてきました。そしてその歌に、当日各クラス全員の魂が吹き込まれ、体全体で奏でられた時、クラスの皆で創った、世界でたった一つの、今この瞬間でしか表せない、「合唱」へとメガ進化しました。どのクラスも、最強最大の「合唱」を私たちの魂に焼き付けてくれました。忘れられない瞬間となりました。そんな素晴らしい生徒たちに一つ、「卒業式で、体育館が揺れる校歌を聴きたい」という宿題を出しました。楽しみです。

さて、最後に、日進の生徒たちが、もっと日進を大好きになって、もっとキラキラ輝くために、11月の校長講話で話そうと思っていることを予告します。それは、「好きこそものの上手なれ」という話です。中学校で、大好きなことに出会い、将来の職業まで見つけた生徒の話です。実は、11月は、県の「いじめ撲滅強化月間」です。皆が、大好きなことと出会い、夢中になり、楽しむことができれば、学校から、いや社会からいじめは減ってくると信じています。実は、講話で話す生徒も、大好きなことを、もっと上手く、もっと気持ちよくできるようになるために、自分で考え、工夫し、実践していきました。そのうちに、楽しむことを覚え、自分自身を大きく進化させた生徒です。保護者・地域の皆様、是非お子様から、どんな話だったのか聴いてみてください。私も、生徒たちが、皆様にしっかりと伝えられるように、生徒たちの「合唱」のように、魂に語りかける、記憶に残る話ができるよう尽力します。どうぞよろしくお願ひします。

希望の登校 笑顔の活動 満足の下校